

海外のシニアライフって？ HIRASHIKI'S OVERSEAS REPORT VOL.3

ひらしきやすつね
大阪出身で現在アメリカ在住の平敷安常さん(71歳)のレポート第3弾!
最終回となる今回は、もっと身近に「アメリカのシニアの方も悩みは同じだな」「いや、梓にとらわれずイキイキしているな」と感じていただき、今後さらに明るいシニアライフをエンジョイしていただければと思います!



「定年後は、ハンモックに揺られて気楽に暮らそうと、夢見た時代はアメリカでも終わった。退職金や積み立てた貯えでやった投資も大不況で株が下がり、老後の保障が50パーセントも消えてしまった。だが、そんな厳しい世の中だが、気持だけでも豊かに暮らそう」こんな記事が、今月号のアメリカのシニア向けの月刊誌『AARP』の特集に掲載されています。『AARP』はアメリカの隠居した人々向けの70ページほどの薄い情報誌、シニア向きの話題がかなり多く載っています。老後も、現役同様に、経済とは密接な関係が有るのは確かです。現代の老後を楽しむ方法の一つとして「経

済の上がり下がりに一喜一憂せず、状況に応じて、生活レベルを変えて楽しむ。過去の繁栄を振り返らず、先の見通しにも現実的に」とアドバイスしています。事実、贅沢しなくても、たくさん有る時間を有効に使っているシニアも多いので



「悩みもハッピーも世界共通!」

す。ダンス・レツスンに通うひと、ドラマ教室に学ぶひと、アラブの「ベリー・ダンス」も健康にいいから習う人。趣味の会の広告欄には「シニアも歓迎」と出ています。アメリカでは学ぶことには定年制がないことでも知られていますが、先日、90歳を超えた女性が大学を卒業、現在仕事を探しているというニュースを聞き、私も励まされたところです。アメリカはいろいろな民族が集って出来た国、老後の過ごし方も多種多様。チャイナタウンの広場では、早朝からシニアたちが「タイチー」(太極拳)を楽しみ、イタリア人の男たちは公園で童心にかえって、玉転がしをしたり、馬蹄形の金物を投げて遊んでいます。小さい町にも、退役軍人の会館があって、シニアたちの憩いの場所。昼食を食べたり、お茶を飲んで駄弁ったり、「ビンゴ」などのゲームを楽しみます。最近、60歳の友人が引退し、シニアの仲間入り、趣味の彫刻や陶芸教室に通い出しました。級友には、はるかに年上の日系人が多数。優雅なシニア人生を楽しんでいるそうです。我がアパートの同じ階の大家族のうち、四大家族がシニア夫婦。お互いの挨拶と会話は、「健康」に関する話題が中心です。わがアパートは、ペットを飼うのは禁止。猫は飼っても見逃してくれるけど犬は小さくてもだめ。寂しがり屋のシニアにはかなり厳し

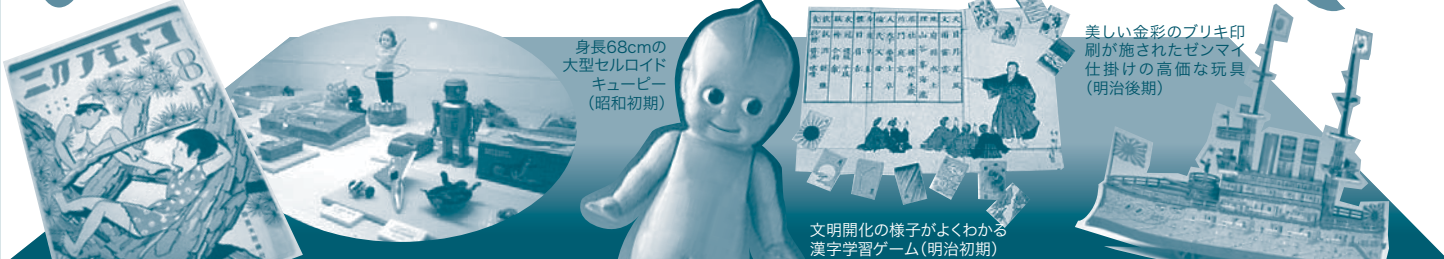
い規則です。だが、街に出れば、コーヒー店も映画館もシニア割引。脚が悪い高齢の人には、看護とトレーニングを兼ねた看護師が毎日来てくれます。いい事ばかりでなく、もちろん、辛い事もかなりありますが、あえて省略。

シニアの一番の関心は、看護の行届きや健康管理のことではなくて「孫たち」のこと。「手がかかって大変」と言いながらも孫の来訪を楽しみにしています。週に三回、孫のお守をしていた老夫夫妻が週一度に減って、しょげていました。どの国のシニアにとっても、孫たちと過ごす時間は浮世の辛さを忘れさせる楽しいひととき。これは万国共通のようです。私も皆さんのように、孫を持つまでは長生きしたいと願っています。



ビッグバンは、日本の貴重なおもちゃ箱! ◆大阪府立大型児童館ビッグバン所蔵の時代玩具をご紹介!◆

当財団の運営する大阪府立大型児童館ビッグバンでは、江戸時代の貴重なおもちゃから、今ではほとんど見られなくなった昭和の懐かしいおもちゃまでを、年に5回程度、毎回ジャンルやテーマごとに趣向を変えて多くの来館者にご覧いただき、ご好評を得ています。これらの「おもちゃコレクション」は大阪府の指定有形民俗文化財の指定を受けており、歴史資料も含めて13,895件56,083点を所蔵しています。1回の展示では、150件ほどご覧いただくことができますので、単純に計算してもすべてを見ようと思えばなんと!約19年かかる計算になります。



7月13日~夏休み特別企画
駄菓子屋さんで売られていた懐かしいおもちゃ展(予定)

昭和の子どもたちがどんなおもちゃで遊んでいたのか、当時の遊びを通してその時代の世相まで垣間見ることができます。大人の方も子どもの頃を想い出し、童心にかえって十分楽しめる盛りだくさんな内容です。これからの梅雨時、休日にはぜひご家族おそろいでビッグバンに足をお運びください!皆様のご来館を心よりお待ちしております!!



★より多くの方々に“おもちゃコレクション”を知ってもらうため、今年は、保育所・幼稚園・小学校を直接訪問し、時代玩具の魅力を紹介しています!★

舞台と客席がひとつになった3日間。 おおさかシニアサポーターバンクの活躍③ 恵比須げんき会・泉州ひまわりネット・てんこもり劇場 5月1日(土)・2日(日)・5日(水・祝) in「長居植物園スプリングフェア2010」



抜けるような青空にぽっかり浮かぶ白い雲。今年のゴールデンウィークは、気象予報士の人たちがもびつくりするような晴天に恵まれました。そのような中、長居植物園では、恒例のスプリングフェアが開催されました。5月1日は、恵比須げんき会が登場。強風の中、ジャグリングと皿回しの妙技を披露し、大喝さいを受けていました。最後は、メンバー全員での南京玉すだれで締めました。続いて2日は、泉州ひまわりネット。ピエロのマジックショーに観客のみなさんは大盛り上がり。続くパルーンアートには、子どもたちの長蛇の列ができていました。5日は、てんこもり劇場のおふたりです。ラスベガスも驚くほどの本格的なマジックに続いて、コミカルな腹話術。会場は、ほのぼのした笑いに包まれていました。夏かと思うくらいの3日間。いずれの日も演じる側と観る側が、なかよく交流しながら楽しむホットなひとときとなりました。

お客様とのかけあいが、なによりの楽しみです。



問題に挑戦! なにわなんでも大阪検定

- Osaka Kentei
- A** 大阪には多くの大手菓子・食品メーカーが本社を設置していますが、大阪市内に本社を設置している企業は次のうちどれでしょう?
①森永製菓 ②不二家 ③江崎グリコ ④明治製菓
- B** 現在大阪市内に本社を置く大手家電メーカーの創業者である早川徳次は、1915年(大正4年)、「早川式繰出鉛筆」を考案し、特許を取得しました。その後、この商品はヒットし、その商品名は現在のこのメーカーの社名の由来にもなっています。その商品名とは何でしょう?
①自動繰り出し鉛筆 ②シャープペンシル
③三菱鉛筆 ④クーピーペンシル
- C** 1960年代、日本のSFは黄金期を迎え、当時御三家と言われた三人の作家のうち二人が大阪生まれです。うち一人は筒井康隆ですが、「日本沈没」や「復活の日」などの著書で知られるもう一人とは誰でしょう?
①小松左京 ②星新一 ③眉村卓 ④堀泉
- ▶解答は下に表記▶
- 出典:大阪商工会議所「第1回大阪検定」より
お問合せ:なにわなんでも大阪検定事務センター
TEL 06-6452-7728(平日10:00~17:00)

読者の宝箱 第三回

みなさんの「宝物」をご紹介します!
絵や写真、引き出しに眠っているラスタラー、思い出の品々...

「世界に一つ」の生活記録が10冊に。
村尾謙二さん 78歳
平成6年に会社を退職したのをきっかけに、ワープロで日記を付け始めました。5年後に「ファインエイジの会」のイベントで製本を習いましたので、それまでの外出記録や写真、テレビや読書の感想など、日記の一部をプリント出力し製本してみました。それが第1号となり、その後毎年増えて、今年第10号を製本することになりました。健康であるからできたことですが、逆に言うと、継続実行した結果の「健康」であるとも言えます。私にとって、まさに「世界に一つ」の宝物です。